

# 施策評価シート（平成26年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	3-3	政策名	生涯学習の推進	政策の 目指す姿	生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動しています	施策 主管課	生涯学習交流課	施策主管 課長名	市川清志
	施策No.	3	施策名	国際都市の推進	施策の 目指す姿	世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流しています	関係課名	地域づくり課		
	現状と課題	・情報通信技術や交通手段の進展により、国の枠を越えた結びつきが加速し、地球規模での人、物、情報等の交流が可能となっています。 ・本市では、海外に6つの交流都市を持ち、長年にわたり様々な交流を継続しており、市民が主体となった活動が広がっています。 ・国を挙げての外国人観光客誘致に向けた取り組みにより、今後は、外国人観光客や定住外国人の増加が予想されます。 ・本市は、神奈川県平塚市、青森県十和田市と友好都市提携盟約を結んでおり、青少年交流やスポーツ、文化など幅広い交流を行っています。								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)国際理解の醸成	○国際理解を進める機会の提供	・国際フェアの開催
(2)国際都市化に向けた環境づくり	○様々な国の人の往来や居住に対応する受け入れ環境の整備	・定住外国人支援事業
	○世界に向けた情報発信の充実	・国際交流情報提供事業
(3)国際交流の推進	○姉妹、友好、交流都市との受け入れや派遣の充実	・姉妹都市等交流研修事業
(4)国内交流の活性化	○国内友好都市に関する情報の発信	・市民への友好都市紹介
	○国内友好都市との交流に対する支援	・青少年交流事業

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
海外の姉妹、友好、交流都市との交流など国際交流に関心のある市民の割合	年代を問わず多くの市民が、姉妹・友好都市との交流を含む、様々な交流事業に関心を持っている割合を示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、海外の姉妹・友好都市との交流など国際交流に関心がありますか？ (1)関心がある (2)どちらかというに関心がある (3)関心がない (4)どちらともいえない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	41.0	42.0	43.0			
				実績値	—	40.3	38.8	36.6		
国際交流事業参加者数	市民が世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流している状況を示す指標	各種講座やイベント、海外からの受入事業等の参加者及び姉妹都市等の派遣事業への参加者の総人数	人	目標値	5,100	5,200	5,300			
				実績値	3,013	4,859	4,946	4,860		
国内友好都市交流事業参加者数	国内友好都市との交流活動の状況を示す指標	出典：花巻市友好都市交流委員会 算出：委員会を構成する各種関係団体における、友好都市の平塚市、十和田市との交流事業に参加した人数（訪問した人数および受け入れ人数）の合計	人	目標値	400	450	500			
				実績値	303	375	277	508		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「海外の姉妹、友好、交流都市との交流など国際交流に関心のある市民の割合」・・・【達成度c】</p> <p>・国際交流事業への関心は減少しているが、国際情勢の変化と、元々交流を始めた人たちの高齢化が原因と推測。</p> <p>■成果指標「国際交流事業参加者数」・・・【達成度b】</p> <p>・国際交流事業参加者については、国際フェアなど前年度より参加者が増加しているが、全体としては減少した。前年度(25年度)はホトスプリングス市との交流20周年があり増加していた。</p> <p>■成果指標「国内友好都市交流事業参加者数」・・・【達成度a】</p> <p>・国内友好都市との交流事業参加者は増加。平塚市30周年、十和田市25周年、と記念の年として事業を組み広報した成果と判断。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	在京人会運営支援事業	地域づくり課	C	A
	在京4人会の運営・活動を支援（総会開催4回）			
2	国際都市推進事業	生涯学習交流課	A	B
	国際都市推進員による海外への情報発信、公益財団法人花巻国際交流協会へ支援			
3-1	国際姉妹都市等交流推進事業	生涯学習交流課	A	C
	国際交流協会が行う青少年海外派遣事業等を支援。（派遣受入人数87名）			
3-2	国際姉妹都市等交流推進事業	大迫地域振興課	A	A
	大迫高校生を海外友好都市へ派遣（3名）			
4	国内友好都市等交流推進事業	生涯学習交流課	A	A
	少年少女交流キャンプ等を実施。平塚市30周年、十和田市25周年の記念式典開催（交流事業28回、事業参加人数508人）			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・国際交流事業については、限られた人だけの交流にとどまらないように事業を構築する必要がある。

(今後の方向性)

・特定の人にとどまらない効果的な周知を図る。

・平成28年度はラットランド市との交流30周年を記念して訪問団を派遣するなど交流事業を実施する。